

株式会社日恵製作所

2014年度環境活動レポート

(対象期間： 2014年3月21日 ~ 2015年3月20日)



エコアクション21
認証・登録番号0010581

作成日： 2015年5月20日

□ごあいさつ

当社は1981年の設立以来培ってきた知識・経験に、日々進化し続けるIT技術・情報を取り入れて「小さな技術革新」の積み重ねによってより高品質で付加価値の高い「モノづくり」を目指しております。

高まる地球環境保全の重要性も深く理解し、地下資源の節約に貢献できる長寿命製品の開発により一層の努力をすると共に、資源の節約にも積極的に取り組み、皆様にご満足いただける会社を目指す所存でございます。

株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵

環境方針

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、電子機器等の製造・販売の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組み、地域社会の発展に貢献すると同時に社会から一層信頼される企業を目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます
3. 廃棄物の削減及び再生利用に取り組みます
4. 水道水の節約に取り組みます
5. 化学物質の適正管理に取り組みます
6. 環境に配慮した製品の開発・販売促進に取り組みます
7. 環境に配慮した資材の購入・調達を推進します

制定日：2014年6月20日

代表取締役 恩田 恵

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社日恵製作所
代表取締役 恩田 恵
- (2) 所在地
本 社 大阪府門真市桑才新町33-9
東京営業所 東京都江東区富岡2-6-6
名古屋営業所 愛知県名古屋市北区若葉通3-19 谷口ビル1F
福岡営業所 福岡県福岡市博多区豊2-4-1
仙台営業所 宮城県仙台市若林区荒井字丑の頭23-3
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 第一営業部 次長 勝部 俊行 TEL:06-6908-6930
担当者 総務課 森 繁 TEL:06-6908-6930
- (4) 事業内容
電子応用機器製造販売
主要製品:LED表示灯・アミューズメント機器
- (5) 事業の規模
製品出荷額 15 億円

	本社	東京(営)	名古屋(営)	福岡(営)	仙台(営)	合計
従業員	62	7	3	3	1	76
延べ床面積	2,595	338	46	140	40	3,159

- (6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社日恵製作所
対象事業所: 本社

対象外: 東京・名古屋・
福岡・仙台営業所 2016年に拡大予定

活動: 電子応用機器製造販売

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年	2013年	2014年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		118,429	128,311
電力の二酸化炭素排出	kg-CO ₂		87,082	87,698
燃料の二酸化炭素排出	kg-CO ₂		31,347	40,613
廃棄物排出量	トン		10,320	13,233
一般廃棄物排出量	トン		10,320	9,963
産業廃棄物排出量	トン		0	3,270
総排水量	m ³		951	1,000

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.514 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2014年		2015年	2016年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	87,082	85,340	87,698	83,599	82,728
	基準年比	2013年	98%	101%	96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	31,347	30,720	40,613	39,801	39,394
	基準年比	2013年	98%	130%	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	118,429	116,060	128,311	123,399	122,122
一般廃棄物の削減	kg	10,320	10,010	9,963	9,701	9,391
	基準年比	2013年	97%	97%	94%	91%
産業廃棄物の削減	kg	0	0	3,270	3,107	3,041
	基準年比	2014年	0%	100%	95%	93%
水道水の削減	m ³	951	932	1,000	903	875
	基準年比	2013年	98%	105%	95%	92%
化学物質(基板防水剤)の適正管理	m ³	-	0	-	-	-
	基準年比	2013年	-	○	-	-
グリーン購入の推進			実態把握	把握完了	チェックリストによる購入推進	チェックリストによる購入推進
製品・サービスへの環境配慮	万円	24,333	25,550	27,786	27,983	29,200
	基準年比	2013年	105%	114%	115%	120%

(注) 産業廃棄物については2013年の実績が無かったため、2014年実績をもとに、2015年以降の取り組みを実施する。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	・空調温度の適正化、空調を必要な区域・時間に限定、不要照明のこまめな消灯などの取組みをしたが目標未達 ・1F商品倉庫照明を水銀灯からLEDに交換(3月)
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房26℃)	◎	
・不要照明の消灯	◎	
・空調を必要な区域・時間に限定	◎	
・クールビス・ウォームビスの実施	○	
・屋上の遮熱塗装	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	×	・本社在席の外回り営業人員の増加も有り目標は未達 ・2014年実績は前年比+30% ・社用車は燃費効率の良い新型車に順次切り替えを検討する
・繰り返し利用できるパレットや通い箱の利用	○	
・社用車の定期点検の実施	◎	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	・廃棄ゴミの検量を開始(6月より)し、前年比▲3%目標を確認 ・リサイクルの出来る資源ゴミの分別廃棄を徹底 ・ダンボールの大幅増(+12%)、一般ゴミ(▲34%)で合計では▲3%の計画達成
・ゴミの分別の徹底	◎	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・回収した資源ごみのリサイクル確認	◎	
・3S活動の実施	○	
産業廃棄物の削減		
数値目標	-	・産業廃棄物引き取り専門業者との契約を締結(2014年10月1日)、引き取りを2014年11月より開始 ・産業廃棄物についてはマニフェスト発行を行う
・加工ロスの削減	○	
・クレーム発生の撲滅	○	
・収集運搬業者・中間処理業者との契約	◎	
化学物質(基板防水剤)の適正管理		
数値目標	-	・溶剤使用製品の生産を行っておらず、使用実績は無かった
・コーティング剤(ハヤコート)使用量の適正管理		
水道水の削減		
数値目標	×	・自動水栓の使用、ホースの手元バルブ活用に加え、社員の手洗い・洗い物の際の節水励行 ・手洗い場・水洗洗浄の元栓調整によって水量を調整 ・しかしながら、前庭の打ち水実施などもあり、前年比▲2%の目標は未達(+5%)
・自動水栓取り付け	○	
・手洗い・洗い物の際の節水励行	△	
・ホースの手元バルブ使用	○	
グリーン購入の推進		
・グリーン購入対象品のリスト作成	△	・文房具のグリーン購入比率の向上を目指し、チェックリストの作成推進中
・事務用品グリーン購入比率向上	×	
・コピー紙の再生紙活用	△	
製品・サービスへの環境配慮		
・LED採用/モーターレスという長寿命商品の更なる充実	○	・製品開発の際に、環境への影響は常に考慮する意識付けを徹底 ・業界の主流であるランプとモーターを使用する回転灯に対して、LED使用でモーターレスのLED回転灯の商品開発の拡充を推進している

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
浄化槽法	浄化槽設備の定期点検(年1回)
フロン排出抑制法	業務用空調機
NOx・PM法	小型トラック3台
消防法	消防設備の定期点検(年1回)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反の指摘・訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の正式な取り組みを2014年度から開始し、初年度が終了した。

前年度の実績数値も定かでない中での取り組みであり、環境への排出削減の目標も十分に達成できてはいないが、初年度に把握できた実態をベースに環境への負担を確実に管理し削減の実をあげられる体制を確立したい。地域の範となれる会社を目指し、遵法精神に則り、着実な環境活動を定着させて行く。

□環境活動の紹介

環境に優しい、電球もモーターも使用しない当社のエコ商品群をご紹介します

